

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団

内容
ワークショップの中で、京フィルメンバーによるミニコンサートを実施する。 ・合唱の場合、本公演に向けて、より美しい声を出すためのウォーミングアップから始め、共演合唱の練習をおこなう。 ・声を発することが不安であれば、ボディーパーカッション「風になりたい」を打楽器奏者の指導で、体を打楽器にして本番の合奏に向けて練習する。

タイムスケジュール（標準）
1時間前到着、リハーサル（60分）、この時間にスタッフと打ち合わせ 合唱の場合：紹介挨拶（5分）、ウォーミングアップ（5分）、パート練習（30分） 休憩（10分）合唱練習（30分） ボディーパーカッションの場合：紹介挨拶（5分）、学校にある打楽器でミニコンサート 休憩（10分）パート練習、合奏練習 *学校の打ち合わせにより時間変更あり

派遣者数
・合唱の場合は歌手1名、ピアニスト1名、司会兼スタッフ1名の計3名 ・ボディーパーカッションの場合、打楽器奏者3名、ピアニスト1名、司会兼スタッフ1名の計5名

学校における事前指導
共演楽譜(5月下旬ごろに学校に配布する共演課題曲)を事前に譜読みをしておいてもらう。 各パートのメロディをある程度歌えるようにしておいてもらう。 歌詞の内容、意味を考えておいてもらう。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	特定非営利活動法人 京都フィルハーモニー室内合奏団
公演団体名	京都フィルハーモニー室内合奏団

演目
歌劇「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進/ロッシーニ 楽器紹介 ビゼー/歌劇「カルメン」より ハバネラ ドヴォルザーク/交響曲第9番「新世界より」より 第4楽章 ～休憩(15分)～ 【ご希望の合唱曲でオーケストラと共演しよう!】 もしくは、ボディーパーカッションで共演しよう! 【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】 ポストホルン・ギャロップ/ケーニッヒ シンコペーテッド・クロック/アンダーソン アメイジング・グレイス/讚美歌 バレエ組曲「恋は魔術師」より 火祭りの踊り/ファリャ (アンコール)ラデツキー行進曲/ J.シュトラウスⅠ

派遣者数
歌手(司会)1名、第1ヴァイオリン2名、第2ヴァイオリン1名、ヴィオラ1名、チェロ1名、 コントラバス1名、フルート1名、オーボエ1名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン1名、 トランペット1名、トロンボーン1名、打楽器1名、計15名 スタッフ4名 総計19名

タイムスケジュール (標準)					
到着	仕込み	本公演	休憩	撤去	退出
9時	セッティング9時～10時 リハーサル11時～	13時30分～15時(本公演終了後10分間質問コーナーあります)	15分	15時15分～16時15分	16時15分

実施校への協力依頼人員

場合によっては楽器搬入、搬出時に3～4名の先生のご協力をお願いすることがございます。

演目解説

■ウィリアム・テル序曲より「スイス軍の行進」/ロッシーニ

(ほうきのラッパ3本で演奏)

スイスの英雄ウィリアム・テルは悪代官に捕まるが、息子の頭の上のリンゴを見事矢で打ち抜き、身の潔白を計る物語です。この「スイス軍の行進」は特に有名で、コマーシャルなどにもよく使われています。

■楽器紹介

オーケストラの中のたくさんの楽器を一つずつ聴いていきます。各楽器の音色、形、名前、特徴を覚えましょう。

バロック時代の巨匠ヴィヴァルディが孤児院の女学生のために書いた協奏曲「四季」などの名曲を、弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の各セクションで演奏します。

■オペラ「カルメン」より ハバネラ(歌)/ビゼー

世界中で一番上演回数が多いのがフランスの作曲家ビゼーが作ったオペラ「カルメン」です。スペインのタバコ工場で働く女性カルメンの恋の物語を描いています。スペインのハバネラという舞曲を使って恋心を歌う、情熱的な歌です。

■交響曲第9番「新世界より」より 第4楽章/ドヴォルザーク

チェコの大作曲家アントニン・ドヴォルザークの交響曲第9番「新世界より」は、古今の全交響曲の中でも最上位の人気作です。第4楽章の冒頭には、鉄道好きのドヴォルザークが汽車の音を模したと言われる音楽が出てきます。

～休憩～

■【合唱でオーケストラと共演! ご希望の合唱曲でオーケストラと共演しましょう】

(「ピリープ」、「翼をください」から選択していただきます。)

2)もし希望があればボディーパーカッションでも可能。

(DVDでの対応となります。)

■【校歌をオーケストラ伴奏で歌おう】

日頃ピアノ伴奏で歌っているあなたの学校の校歌をオーケストラの伴奏で歌ってみましょう。

■ポストホルン・ギャロップ/ケーニヒ

(ポストホルンとホウキのラッパでの演奏)

ポストホルンとは昔郵便配達時に郵便が来たことを伝えるための楽器です。そしてもう一つの楽器はホウキ?楽器? 聴いてのお楽しみです。

■シンコペーテッド・クロック/アンダーソン

シンコペーテッドクロックは、時計が規則的に時を刻む様子を表していますが、時々リズムが狂ってしまいます。打楽器が活躍します。

■アメイジング・グレイス/讚美歌

多くの人に知られている「アメイジング・グレイス」は、黒人たちの心の歌として歌い継がれてきた讚美歌です。

“grace”とは「神の恵み」「恩寵」の意味があります。

■ バレエ組曲「恋は魔術師」より 火祭りの踊り／ファリャ

バレエ音楽「恋は魔術師」のクライマックス、悪霊払いの場面で演奏される情熱的でミステリアスな名曲です。

燃えたぎる炎のようなファリャの熱いメロディをお楽しみ下さい。

■ (アンコール)ヨハン・シュトラウスⅡ 作曲/ラデツキー行進曲

シュトラウス作曲のラデツキー行進曲を皆さんの手拍子を交えてお届けします。

■ コンサート後、質問コーナープロの演奏家に聞きたいことはどんなことでもお答えします

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

合唱：ご希望の曲を2部合唱もしくは4分合唱用に編曲しています。

この歌を通して、大きな声や、美しい声で歌の内容を表現ができるよう指導する。

ボディーパーカッション：いろいろなリズムを楽しく学年ごとに分けて1つの曲を作る
楽しみを伝える。

児童生徒とのふれあい

コンサート終了後、全児童対象にオーケストラのメンバーにたいしての質問を受け、コミュニケーションをとることによりふれあいが生まれる。